

○あとも一ふるよげんどう十がやう

10

千八十

已れもトあぐくあれり。已れよりかゆのあり、ひそく、あるから
の事トキ、あるもろもろの事と、ことをめひと箇と、ある
事らうの、さううちよつりそよけんすべーと。

あらぢおまとからみのみゆとさりばんねよびそとよそをくわるもの
とをもうちる。されどみやのそとのふそくこれとのそとてもうちる
あられ・そへりじかよこあまりさればあり。されどおじうからけ
のあひどきとみゆとをかとあとせん。さればぐあさりの
あひとよけんとあるへん・われとあひききゆれをきて
のけせんあひやくろくじうからわあひどよげんすばー。されば
あさりのめんじんのまよーとちのまよーまよーとまよーの
あさりのあよーまよーあり。さればゆーこねをがりせんとわいー
あべもそのくちありりぞくめんのものどもをわうせん。
これとがりせんとわいするものあべものものれめくのじとく
らうせんべー。さればよけんあるあひどあめあとせんやう

てゐる。とくにそのけんあり。またさういふをちよつとせ、やらうの
やのするだとよすぐそのさういふをゆくとちとうのけんあり。
「やれどそのあうへとあーをもるとまよそらあきところより
のがるけめれやれどと、さういふをあーからてころをころさん。
そのあうむねりととくをゆくとせむえおふととあくらるとと
うのねりあるみやこのもすすすあをちやれとのきみのそり
うけとれどととくよのそとく。たゞ、ぞく、ことば、くわぐあ
うちよそりもふのおひどやれどのあうむねをくるものありと
そのあうむねをもうよやうむることをゆくとす。10 ちよすめら
ゆのどもそれどもはよろとびやのとくとだげひよねうりむけを
おもとえ。そんこのあたりのよげんとゆめりをちよすめるゆの
どもとくまめうれどあり。

11 そひもんすきてかよりいぢるりのちのいきそのふる
りのゆめよりりーうべゆれどあしよてきそり、これをみてもの
どものこもうちよおやひあるおそれおとれり。12 あうーびと
さん

おりめねどよ、あらそーるよのりてらふよのせれどりくらおわひあるこゑを
まもふればさゆよのりてらふよのせれどりくらおわひあるこゑを
されをきく。13 そのときよおわひあるぢーんありてみゆとの
おうぶんのいちとあれより。ぢーんはこうされらるものあらせん
あん、のそりのゆめいねのせざそえりうとてゐのかみよませり。
14 がのあのせざそむひすぎより。さよ、かのまんのせざそむひすみ
やうよきくとん。

15 がのまんのつりひあまけねばちふよおわひあるこゑあり、
りそく、おのまうりどどくのせれどのまことそのまうりどくのせれ
あり。16 めねらよもやまきのまことそのまうりどくのせん。16 かまのあくよおりそ
ざよきするあじうすまんのとーよりどくちよひれあー、かまを
をくみてりひけくら、ひりああり、むりーありーまことあるつう
りまのわまよ、されどああくよのふーやす。そんああくよおわひ
あるけんあとあきりておまくーまおんばあり。19 うあぐあのが
だまくわりうりうり、ああくのみりうりゆりうり。まくわせ

ゆめー おむかをうけ、ひつよげんー もあるああくのまゆべと
きまき ゆの おあびだりとあやうとの まうちあくみあとおを
まく ゆのどもよむくひとあくへ、ひつちをあらがす ものをあら
がー まおふのとまくひりうれり。

19 かまのみや てんよひじけくら・その やうまくの まとみやよ
さくふり・あくりあびうり・さゑ、ひまあり、ぢーんおふねおわひ
あるへうあり。

おおひあるあまーでふよあくもれより、すあそちむと
ころもとーつせをあーのあまよあそひーとよあうよのあーの
のんむりそりくらまかへるひとりのをなまあり。・めねすをよもと
をきりーぐ あまよ うまんと する とき くつうーと くまーみの
まめよ あく。

18 あくわうのあまーでふよあくもれより、さよ、あまうのひーと
とをのつけありとそのひーとよあくうのせんむりそりくらま
さるおおひあるあくまたらあり。・そのそへてんのあーのま

おのののりをひきとこねをちよあけたり。たらめうおふと
するところのをかみのあくよまくとり。そんをかみうミーとまよ
そのおののあんぐくめあり。5をかみてのつえとゆれてすべ
しのくあぐををきめふとするところのあんーをうめり。この
あんかとおよびそのみきよまでとりあげとれたり。6をかみ
りけせんあひぬくろくとうあらのあひどやーあもくとやうよ
かみのをあくまとところあるれよあけたり。

7つひよてんよまくらひあり。みがえるそのつうひくらとひキ
あてたうとまくらふ。たらそのつうひくらとひキあてまくら
しきめくす。ももやでんよむれじのとこをとみせ。8あくおうひ
あるたらすあをちせうひだうをあども毛とこものぎふき、さくら
ととあくらふくまへびおひりとくねたり。けねちよあけおとくね
さり、ちぬつうひどくとゆなあけおとくねたり。10けねてんよ
あるおあひあるこゑときめり、りもく、これとのかみのすくひ、
ちうじ、まくわざとねよびそのきり毛のあもひにすくよあれり。

そいせれのきやうどりどもとあちやかみのあくようのくある
ところのうのうくふんりおあけおとくねれりあり。11せれの
あむくのちねよびそのあーせーところのことをよおけを
されよめぞり。12よりくるあくもりのうをねーあきりき。12この
ゆゑよちんおよびこれよすめらゆのどもよ、よもとくべ。ちとうみへ
きせらむあるゆあ、そんざんきおのれのときのりくをくわあき
こととあり、おあひあるりうりをもいてあるぢとよくくね
りあり。

13たうれおのれぐすぢよちよあけおとくねーをみてあんーと
うみるをかみせめくり。14こくよおのとをかみおのれのとこ
うあるはよとびのうんくめよこねよおあひあるミーのあく
うのつむきをうあそりくり。ウーとよおりてをかみへびのあくを
かけそひとくま、せりのときあるもんとまのあひどやーあもくと
あり。16へびおあひをもいてをかみとあぐせんくめよそのうち
ありをかみのうーうよしげをのまのごとくよまくたり。16ちをか

を さすけたり、すゑをめうちらうと ひくまてたうの うちより
ちくとこその わかみぐをの みつくり。わたりをかみをのりりて
をかみの そりの あどむすゑをもち かみの おせをを あゆりめう
めうの あうーを たあう ものと さううせん さめよゆけり。

第十一章

めれ うみの すゑの うくよさなり。さて これ うみ あり
の がる とくろの けめを さうり、されよ ときの つけ、あくろの
のーと あり。その つけよんと きの けふせりを つまむて めーとす
れけぐーの あり。¹¹ せぎ そーとくろの けめを つまむて めーとす
その あーへ くみの あーの ごとく、その くらへ ちみの くらの
さとー。たゞ これよ その ちうと、くじる ねあび おあひ ある けふ
あを あくへり。¹² これ その めーと の ひとうを さくよ あより さる
あを うふね さうだ さとー。その おする わじの ますり やまねさり、
あらーと せうの ぢう されと あやーと そ けめはよ あよだへり。
だらけぬを けめはよ あくへーよ すけ て ひとびと たうを そぐ
あり。めうけゆを そぐみて ひけまへ、されう この けめはよ

ごとく あうふや、されう されと さううふ ことを えふや。されよ
ねあひ ある こと、けぐす ことを ゆふら と こちの くらを さあそり
さり。ある あうふ あうけうの あひども とくの けふふと さあそ
り さり。¹³ かれ くらと ひとまと かまを けぐす、すゑをもち その あ、
その あくや ねふび でんよ すめる ものどもを けぐーさり。¹⁴ かれよ
きふき ものどもと さううひと されよ めう うとを さやめり さり。
めう すばらの ごく、たま、ことば、くわを あらの することと さあ
それり。¹⁵ ちよ すめる もの すゑをもち よの そづめの とき あり うろ
きれくらの あひくドの いの うの ふみよ あを あらきれぎる ものども
さあ これを そぐあん。¹⁶ されう さく あうば まく べー。¹⁷ されう ゆー
ゆーとり とよせ せうれふと する もの あうば ゆく べー。されう ゆー
ゆーを ゆゆく こらう うべ その ものに ゆく あと ゆゆく うべ。うべ
べー。されよ まよき ものども さくへーの びと あらう あり。
¹¹ されよ まよき ものども さくへーの けめはく ちよりの がふと さくへー、あひ
うとの ごとく されよ ふくうの つれ あり、ゆれりよ こと たうの

ひと。12 われ おまけの けあはと すべもの けあはを その まへうふを
おこあひやうちと これま すむものとをして おより まみの まみの
りきする まみの けあはを そぐあへよ。13 やうひひとの まへよ
おりを おどてん あり ちよ くさうじーむる わどの おおひある まみ
一を おこあふ。14 われ けあはを まへよ おりを おこあふ まめよ
まめりする あまーを ゆりを ちよ すむ ゆのじもを あだなして
ちよ すむ ゆのよりよ、やうあひ きを ありそりける ところの けあ
はと まめよ ざうと つまれと。15 われ けあはと ざうよ いがを あ
まめりすることを まめりする。そん けあはと ざうよと ゆれりそ
せ、のう まじて けあはと ざうを そぐあざる ものをと こまき
れーめんば まめあり。16 われ まじての ゆの すみそら ざうへやう、
ひんぶ、おゆうの ゆの、あらびをと まじて その まみの てある
ひらひら あひ あひ ある ゆの ま あらひ され ゆふ こと あるひ
うることを まめする まめあり。17 まめよ ちゑあり。まとりある

ものんけめれも すうと めぞくよ、これ ひとの のす あり。その
かずく ろりびやく ろくドウ ろく あり。
第四章 され そと あゆつドの あおんの やまよ ふくらむと そなり。
これと ともある もの りりびやく 知ドウ 知せふよえ。 そな その
あと その ちの の あと ひづりよ ふるはれどり。 され ねわみづの
こゑの だとき ある ねわひ ある めまどりの こゑの だとき こゑの
てん より あるを まけり。 さう さう と こうの こゑに こととを ひく
ゆめどもの ことを ひく こゑの だと。 われと みき ねのび ものの
りまゆれ ある と と ありどもの あくま むりと あくじーき うふを
うふ。 この うふ あぐあひを 見て ちより まくらる ひやく 知ドう
あせらうるの あらへ され れ これ まあが ことを えす。 われと
を ふきよ つりそ けぐれを うけざる ゆれ、 いざまく ゆれ ゆれ、 あゆ
くドの ひげく ゆく るれよ あらぐ ゆ ゆの あり。 われと あら
けふの うち より あぐあひを えそ かまと あゆつドと もう わと
あり もの あり。 りくもり その うち よ そくす。 そん まく あき

ものあねだあり。

○されまふ そとを とぶ ところの わらの つりひと まみり。 れ
ちよすめる もの すみを まち すぐの くふ、 ごく、 こじへ、 たまよせの
かやうせんと そめぎり あまの あくの ふを もち おもど あまそりひ
けり。 かみを おそれて これよ さうを ませる。 そんかみの
さむきの とまへす ぐより あねだあり。 てん、 ち、 うと ある うげの
さあゆと つまり さゆり 一 ものを まぐめよ。

○ある ざりふの つうひ これよ あくぐみて ひけり。 わらひ
ある ばびろんひ さかねり。 さかねり。 れを さかどこの たまよ
その みりうの ひうりの まけを のまーあり。

○ある ざり さふの つうひ これよ あくぐひ おもど あを おりて
りひけり。 うねり もー けめれと その さうと そくそく から その
あふーを ひくひ あみひで うけあべ 10 その ものひ かみの ひう
りの ちふくは つぎひ あざり あき その ひうりの まけとの ま
づ。 ある まふか つうひ おふび あひくどの あくよ おりそむと

りをうと ものと くふーめたる ベー。 11 られ じう くふーめたる
けむりへ ある おふくの がる あり。 けむれと その ぞうと そく
もの ある その あの あくーと うくる ゆのひる よる やすむ ことそ
えぞ。 12 こくよ かみの おまへと おまの おまくうの まちを あるる
事ふか ゆのひ さくへーのび あり。

13 され てん おりの こゑを きけり。 りもく、 これ あるせ、 その
のち おまよ おまへと おする おまへ おまく おまひ あり。 みまよ おりひ
けり。 あうり、 われ うれ その おまく おまく おまひ あり あす おん、 その わ
あひ うれよ あひ うれ。

14 され こそ おまよ くゆと くゆの うくよ あふけふの むまの
ひとの ゆのひ ざす くよと まみり。 その ウー じう まふの わふ
りを ひくひ おと て おと す おと ひ おと ひ おと ひ おと ひ 15 ある ひとりの
つうひ みや より ひくひ くゆよ ざする もの よ むうひ おもど あを
もの て おもどり ひくひ あんがの わおを いれて やる ベー。
そん めると まへり ひくひ、 ちの おまく うれす ぐよ おのくー うれ

あり。¹⁶ くわよざするものそののひすとちよのあーうべちゃんのこ
れなり。

まことに、つらひでるみやありりび、されむすなど
のあをゆきり。¹⁸ あくもつらひどるわうのつらひきりどんより
りで、おあどゑをゆめて、おあどゑのあをもくるゆのよもうひそ
よをもりひける、あんちのあうどきのあをりれて、ちのあなう
うのあをとあつめよ。そのぶどうへありくくおゆくめり。¹⁹
つらひそのゆあをちよのれちのあなうぐくとあつめて、これを
かみのひうりのねわひあるせうがねはあげきり。そのせう
がねみやこのそとよねりて、あねねーぐちまうがねおりりゆく
うきうおのうりをよりされり、ひうぐることもぢどうり。²⁰

さうなり。からけめれとそのぞうねるびそのあひのせよめらうる。
ものぎやあるのうまよもむかかみのことをもじるをさうり。
かれとわみのあゆぐあるせうせのうそとあきうとのうそとを
うそとてりひけり、つうりせあるきもあるかみよ、ああうの
ひざれおうかよしとあしきあり。もうもうのよのうよ、ああ
うのねうよとくうへきざーくーとあるとあり。＊＊＊＊＊、かれ
おそれせじとくや、かれりみあをあぐめせじとくや。＊＊＊＊＊、
ああるのミ、ああるのせじせじあくもれーよよりとせじとくの
ひとびとりさりとああるのあくよはりせん。

○あふとーるよげんざい十五 おやう 15

平九十四

よりいじるけむりをもててまゝなれどり。あらゆるのつらりうちのあらうのさりあんぢありまくあるあらうされもみゆよりらることをえぞ。

これおろひあるこゑのみやよりりゆきあらうのつらひくちよりくをきけり、りそく、あらぢとゆきとわみのりうりのさらうるあらうのそそとちよゆくむけよ。2そのうりうちのゆきとちよそのそらうをゆくむけければあーきくよーきあゆむりけめれもあらーをうるるものあらそのぞうををぐむゆめよあやうせり。

3ざらのものそのそらうをうみよゆくむけければうもあらぬのちのうとくよありそうものあらのいあゆれどとだくあせり。4ざらのさるのものそのそらうをゆもとさうのさうけーうべとあれり。5これさうのつらひのりくをきけり、りそく、りゆあり、もう一ありーとこうのさるさゆめよ、あらうれのうのうとくさるきふあらよゆめをくべーきあり。6めねとく

せうそ さうのゆめと よけふーやくちとのちをあがせーゆめよ
あらうれこねよちとのあせり。めねとくうべあり。7これさりとく
のりくをきけり、りそく、あらうり、つうりきあるきとあるかみ
よ、あらうのさるあらあことあり、さうーきあり。

8さうり、ものつらひそのそらうをたのやうよゆくむけーうべもを
ゆめとひとびとをこぐすことをたのやうよゆめをりなり。ひと
びとおろひあるあらうをもれとこぐされければこのさりあんを
つうさどるところのかみのあとけげせり。せうそあらうめて
さうらうをめれよきせり。

10めねとくのゆめそのそらうをけめれもざよゆくむけければその
くふくとくあれり。またひとびとくとくのくめよあらうをくと
11せうそあらうとあらうのくめよてんのかみをけうーとそ
おとあらうをくとあらうめぎり。

12さうのうのゆめそのそらうをけめれあるゆとふらつよゆくむけ
ければそのさうめぎれどり。これひぐしのゆくのくうくらうの
そらうを

○あふとーるよげんざい十六 おやう 16

千九十五

そあんなんさめあり。¹³これあさたつのくち、けもねくくち、りく
そりのよげんしやのくちよりのそばのどときみのあけりある
くちのりげきをまさり。¹⁴これあくまのくちよしてあしきの
きをねとあひ、あくつうりきあるかみのおわひあるひのく
うひよせうりぢうのくちよからをあつめらぐくめよめれとのむと
ゆくゆのあり。¹⁵よ、これぬすびとのひとくよきくら。され
あくゆもぎくよそあゆむことをせすあとひとよそのまぢを
まぢをやうめをさあーきめをあくるものにまじむひあり。
¹⁶かれとへがるのことをみてめぎざんとりくるとくらよくう
くちをあくめくり。¹⁷がのちのものそのもちをくうちよゆく
わけりうべおわひあるこゑみやのみをよりりぐくり、りもく、
をれり。¹⁸つひよいあびくり、こゑ、おあびゆまいりあり、あく
おわひあるぢーえあり。ひとのちよありーりとのりゆうどめくの
こときつあきおわひあるぢーふんあくぎりき。¹⁹おわひあるみや
くちよくうれくり、くふぐかのあちよくられくり。おわひある

ばびろんかみよおわひりづくねくり。そんかみおのれのそけーき
りくりのそけのちよくとこれよあくへんぐくめあり。²⁰すべく
のあすんすぎさりくり、やあいみくす。²¹ゆくおもきりけびゆく
せんわどのおわひあるへうてんありひとびとのうへよおち
くり。そそひとびとへうのさりあるのくめよかみをのくーれり。
そくこのさりあんりとおわひあれべあり。

あくのそちをゆくらあちよんのつうひくちのひとり
きうりそくねよめくりりひけくら、あふぢまくれ。これおわこの
おめさん。ちのくうくちのれとまくつうとおわひちよすめ
るゆのどもんそそのくのくのくうのそけよよもせとれくりと。²³これ
みくよめふド。われよなうきくとれとせよゆけり。これあく
のウート、とそのつけありとやうくちよけぐーのあのくち
くらうれありのけめよざするをくちをまくり。そなそ
あんむどうすとひどうすとき、あくさん、わうせき、あふドのと

めざりとあり、てよそのきのうの・あくわべきけぐれの・みち
うち きんのちふくと ゆとり。5 そのひきひよ おもなされふる あ
り、のとく、ねくぎ、ねあひあるばびるん、あをびめどもとせち
の あくわべきものとのほふ。6 これらを きんの きんの きんの
ちと あきの あらへびとの ちよ あくわくと みどり。これらを
みと ねあひよ ねどうき あやしめり。7 その つうひ されよりひ
けふく、あんぢあんぢ あやしむり。それをおもとこれをねあとと
うの けめれす あもち あくわの めーと、とそのつけめれ
との ねくぎを あんぢよ みどり。8 あんぢう 三一と とうの けめ
れん せうと あり、のま あー。のち そと あま と とう おりの 行り
めう わろびよ めーと。ちよ するめる もの すあもち おの そとめ
おり いのちの あまよ あと おもなされざる もの ども その けめれ
せうと あり、のま あー。のちよ あんぢえ もの あらを みと あやしむ
あん。9 こまよ ちゑの こまろ あるべ。その あくわの めーと
を あおの ざきる と とうの あくわの やお あり。あく おちあおの

口う あり。¹⁰ その うちの さあねに すゞよ くわねり。のま ひとり
あり、わうの ひとりへり あど まくとす。まくとすと おもとくの
あひだの とるの と。11 めーと あり、のま あき けめれ 三一 う
ざの まち あり、あくわよ ぞくする もの す つひよ わろびよ あもん。
¹² あんぢう 三一 と とうの とをの つめら いあど くわを うけず、ふく
けめれと とゆよ ひとくの あひだ 口うの さと き けめれを うく
と とうの あくわの 口う あり。¹³ めーと こまろ おあドアーと
おのれの ちうじと けめれを けめれよ あくへん。¹⁴ めーと あひだ
と ふくと あ、あひだ これよ めーと。それ めれ きまくらの
きま、口うの 口う あれ べ あり。あく めれと とゆある もの
じゅくめ あされ、えとれ、ちうぎある もの あり。

¹⁵ あく 口れよ いひ けふく、あんぢう 三一 と とうの 三一 う
もち あひめの ざする と とうに もう ゆうの たと、ねあせり、くふ、
ことぐあり。¹⁶ めーと あんぢう 三一 と とうの とをの つめと けめれ
あひめを あくと これと おましく あーと そとくよ せん、あく

○志士一之るよけんざい十七志や

17

千百

そのまことにひからむをもつてそれとやまつさう。ほそに
かみゆれどよおのねのむねをおとおせひからむをしてこ
ろをおあづけしめ、またかみのみことおのまつらくあるまで
かれどのけふをけゆはあらんことをゆれどよおせしめ
きあらべあり。

¹³ ある限り どうぞ なんが ちの どうなつての うふ けんを ゆるところの ねひあるみやうあり。

こののむかに水をくみ、ひよこめのうすきりおやじあるけん
あをゆけてさんよりうさぎをうさぎ。ちくそのえりううよより
ててうさぎれさり。のれねうどをゆりてうをとりりむけま、
ねうめあるばびるんくらわれさり「くらわれさり」。のくあるまの
すまうあるすべものけがれくらわすをあわるとどう、すべもの
あけらあるふくわづまとりとあわるとこうとあれり。そん
ぢんとくのたまらそのうりううのりうりのさけとのむよよけと
うれ、ちのくうくらへのれとうりううをねうめし、せううの

あきうどんそのおどりのつまぢよよりそとみをあきねばあり。
「されあるさんよりのこゑをきけり、りまく、さげたまよ、ある
ぢとゆれのつまよあぐりくすあるゆれのきりあるをうけける
やうよそのうちおりりを。」それそのつまらつめりてさんよ
りくり、ゆそそのあぎをねがへとまくべあり。ゆねぐひとよ
あくへーごとくゆれよあくへよ、そのねうめよあくへびせり
してこれよむくりよ。ゆねぐあせあくへーとくろのまくげまよ
がのへーとくねよあせあくへよ。」そのまくげくをあぐめゆ
おどりくとすことをあせーわどくねよくまくーとあゆみと
あくへよ。それゆれくまうのうちよ、ゆねぐああきうよーとぎす、
やゆりよあくへ、またよゆあーとをきざるべーとりゆくねばあり。
ゆれよりちよちのうちよゆれのきりあん・すあともあ、ゆれ
ーと、きくえりかよん。ゆねぐわをゆれてやきつまざるべー。それ
これとまくべとくろのゆれある・かみへつまけねばあり。
「ゆれとまくべとおとあひあるおどりくとーくのゆ

○あひそーかるよげんざい十八志やう

さういふやうなもくけむりをもるときのわれのさめよあきのあ
ーさん。¹⁰ あるそのさるーみをおそれ、さううよさうそりとえ、
やあーのやあ、やあーのやあ、ねわひあるみゆき、つまきみゆき
ほびるんよ・そいをなぢのさをきひととさのうちよりうねばあり。
¹¹ せううのあまうどりももやそのふゆうを、やふひとあとざらう
ゆゑよゆれのさめよあきのあーさん。¹² そのあゆうひきん、ぎん、
やうせき、あんじゆ、ねあひぬれ、むじきき、きみ、うねああ、あ
すべとのびやううるのき、どうけのすべとのうへん、うのとせ
き、あんじう、うら、ううせきのゆうゆうのうへん、¹³ あるあけ
けい、ゆうせきゆれ、あわひゆれ、あわひあがく、あううう、
あとうしゆ、あがく、うあ、むぎ、うー、ひとつ、うお、さうお、ある
ひとのゆふと、ひとのさあーひあり。¹⁴ あんぢぢさうよやーも
とものうきゆめんあんぢをもあれり。ううよーきもの、やど
やくゆめんをあらうびてあんぢあり。されり。ゆもやひとびと
それをさがるべ。これとのものが、あまみゆれよありそ

とことをえくるあまうどんのうちもとをおそれておまくよから、
あまゆる一もとてりもん、¹⁶ やあーのゆゑ、やあーのゆゑ、こまゆり
あるゆれ、むじきき、くわあゐの まゆゑをき、せんと かうじまると
あふトゆをゆきりとあへくるねむひあるみやこす。そいのまの
ごときねむひあるとまひととまのうちよあじきねむればありと。
¹⁷ やうすぐいのふをき、すぐそとうにするゆのねむひあめお
あるうみよおりそあゆうをのするゆのまもまくよまち、
そのゆゆるけむりとまて、そのねむひあるみやこのごとくい
りうれのあらうとまけびりくり。¹⁸ やうちりをのーとよめがり、
あまゆる一もとゆまけびりくり、やあーのゆゑ、やあーのゆゑ、
すぐそうみよあねをゆれるゆのまのまうよよりそとまを
えくるねむひあるみやこす。そいひととまのうちよあじきれ
さればあり²⁰てなよ、まよきもの、まよや、よげん一やどゆよ、
めれよもうかとあらそべ。そいかをあらうとのもまひをのれより
もとめ まゆくべあり。

○あらそーるよげんざい 十八 章やう 18

千百四

²¹ こゑよおりてひどりのつよきつくりおわひあるひまうすの
こときりーわけをうそはあけそりくり、おわひあるみやそ
ばびろんれゆくのだとくもけーくあけとねん、ゆゑゆそくをくさる
べ。 ²² こととひくもの、がくあん、あえあき、らのまかのこゑに
ゆゑあんちのうちよまくそくす、さのくそゆんあんのさくくする
あくもももやあんちのうちよまくそく、ひきうすのねともももや
あんちのうちよまくそくせざるべ。 ²³ とゆ一びのひうりもゆそく
あんちのうちよまくそく、もゆせおもあふめのこゑもももやあん
ちのうちよまくそくせざるべ。 そんあんちのあきうどくせうりの
さくときものとあり、さくとくのひとびとくあんちのあトゆくよ
よ内をまどもされへれべあり。

²⁴ よびるいやとまくわゆの、さるすべせうりよおらをこう
うれくるゆめくちこのあらよあらをうれり。

こののちこれくわトうのおわひあるこゑのことき
こゑの てんよあくをきけり、りもく、さんびせよ・すくひ、きり

うう、ちうじんひれどのかみの もれあり。 そその まくわせあとこ
あくうだしきあり。 そんきのつうを ゆのて よをけぐくらるおわひ
あるあそびめを おもひて おのれの あゆびの ちの むくひを あそび
めの て より ゆとめ くわくべあり。 ウねト あくみびりひけり、
さんびせあと。 あそびめの けむりよ さんびりの 行る。 あドト
よよふの とくよりと よりの りすむれひれあーと みぎよざする
とくうのかみを そぐこそ、あめん、さんびせあと くわくり。 ある
みき あり くわく こゑあり。 いもく、かみの あゆびよーと おれを
おなみ ものよ、 さうと おやうとの こうち あく みみ おれとの
かみを あめよ。 これ ある おわせの こゑ、 おもいの おと、
つよき うみありの おとの ことき こゑを きけり、 いもく、 さんび
せよ。 そん つうりき ある おれとの かみ ある かみ おもい うすら
よおにて あり。 おれと よろとび うの こゑを さうを くわよ ききす
べ。 そん あゆびの こなれの とくへす うより うり、 そん つよめ
ううと ううの あめよ う内を あり。 つよめ の どうやまくら

○あふとーかるよげんざい十九おやう 19

千百六

りゆきがくのせめをきることを みゆきりくらり この めめん せまつ
もの さざーき ことあり。

されよりゆものあり、つもく、あんぢられとゆけ、あゆうとの
さんねのあゆゆひよ あねうるゝ ゆのへ さゆのとひありと。あ
れよりゆけられ、それかみのあらとのことばあり。¹⁰されづくよ
ゆれをほりせんとそそのあーのあくよあーければ われされよ
りゆけられ、つもーめよ。あらすぐうどす。されあんぢねあび
あんぢのきやうさいすみそちあそびのあーとさくらゆのとどく
ゆくあり。あんぢふど かみそはのせよ、あそよつのそのおーへ
おけふの そくろ あり。¹¹されあらすぐのひゆけさくと さーよ
あらきうおおよびこれよのるとさうのちうきあるあらとあら
ゆのとりくる ゆのと そくり。われら さざーきを ゆりて さくをを
あーゆくさくふ。¹²そのめんもの わのをの さとー、その やーと
おねくの わぬせりを じゆくけり。わく わのれの わうへ され
あトぎるとそうの さざーくる あり。¹³われ ちよそくする まく

れを あとふ。われの あんかみの こととせとりぐり。¹⁴すくの ぐふ
せの あらき うおよのり あらきい さくを みゆけを まきて われよあく
ぐくり。¹⁵くわぐわの たまを うりやうよ する どき つまき その うち
ありりう。われら うりの つまを ゆりて これを あそりせん。わら
つうりき ある かみのはけーき ひうりの さくらがねを あせ。¹⁶その
こちの うらと もみの うへよ、さくらがの さく、さくらの さく
と あらくーく ある あり。

¹⁷され ひよりの つうひう ひよ うしるを まく。われ おやじあよ
よおじりて、そとよとぶすぐの とりよりゆけられ、あんぢと
きふりて かみの おわひある あゆゆひよ あらすれ。¹⁸そん あんぢと
さくらの あく せんよんの わーと の あく、あらゆうの あく、
うすと うねよの う ゆのとの あく、およびおゆうの ゆの、どれい、
あく ぶりと あく うと の うらち あく すぐの ゆめく あくを うと
えく あめ あり。

¹⁹され けむれと ちの さくら あく そん ぐふせう うおよのる

○あふとーかるよげんざい十九おやう 19

千百七

もの おもび その ぐるめりと まうちよ さめよ あくすりまゐを
まづり。20 けむれ とどもれり、めう これと ともある りうそりの
よけふ一や すきもちゆつて あべきの さきをけむれ、あくよおと
あひ これを めいて けむれ、あく一を うけ一 もの ある その ぞう
とを ぐむ もの じゆを あらもーする もの も とどもれり。この あく
りんりき あぐと いきうみて ものる わの うとよ あけいれられり。
21 の どりの もの ひつまぎ すきもち うおよ の も もの くちより
りくろ つみぎを めいて こちまき せんり。すべもの とりへ その あくよ
よりそ あく ことを えまざり。

コレあるひとりのつらひぢてよなまちきあみのゆがと
ゆうひあるそなりをゆうてさんよりそどうとそなり。このやの
たらすももせんきせんきあるかくびへびをとどくせんねの
あひどこれをめめりと、させんねんうのうあいのゆをやうあぐ
あをあどもせうるやうこれをそとあきあはよあけいれ、とちと
そのうへよあうりゆせり。そののちめめうのあひどとうる

べから
あり。

セシムセシムねん うつる とせき せきくえん その ろうゆ あり とられ うひぐみ
ちの るも うよ ある くわくづか すももち びじと まびじを あどもー
こねと あくめで くまくまー めん。 その やすい うみの すみの どとー。

⁹ われど ちの ひろき おもての 行りを きよき ものと ぢるやと
ありせども みやことと つましげ も かみの りすてん より
うざりて われどと わうがせり。10 これを あどこへする ざんせん
けむれと つもりの よげんしゆの をる ところ ある もと いきう
との うみよ あけ りねとねり。 われど おも ぞんじの ひる もう
うるめとねえ。

11 われおもひ ある おろき みぎと これよ ざする ものとを きくり。
ちと てんく その まへ あり の ぐれどり。 われど くる べきと どうを
えびりき。12 われ あへ ぐれど あやうとの およひ みぎの あへよ
さくを みくり。 もう ゆうの あみ ひじく れどり。 あく わうの あみ
すあを ちり うちの あみも ひじく れどり。 あく てんく あみよ あく
れどり こと すあを ち その おこあひよ おも ぐくと さむく れどり。
¹³ うみく その うちの およひを じくせり。 おと ふみく その うちの
あよひを じくせり。 われどん おの おの その おと あひよ おも ぐくと
さむく られどり。14 わく おと ふみく おの うみよ あけ りねとねり。

これ あどめの お、 すあを ち もの う と あり。15 わねよ おも うり うちの
あみよ およひを ねざり、 ゆのひ もの うみよ あけ りねとねり。
第三章 われ あへ じーき てんくと あへ じーき ちを みくり。 あくの
てんくと あくの ちん すげよ すぎ さりとねり。 ももや う と あへす。
² これ あへ おと みやく みやく ある あへ じーき ある せきむ うりと
うめよ おびり みやく ある あへ じーき おへ じーき かみの りす
てん あり うざりと みくり。8 われ みぎ あり いぐる おわひ ある
こゑを まけり、 うそく、 うそ、 かみの まく やん ふね けんと とめよ
あり、 かみ われどと とめよ すと うおふ。 われどん その だまと あり、
われ われどと とめよ ある かみよ そと その かまと あtron。 * かと
すぐ その あみを われどの め あり ゆくひ と とん。 ももや あも
の あー み も、 あく こと もり うむ こと も あと ざる べ。 それ あくの
こと も すげよ すぎ さりとねり あり。
⁵ みだよ せする わの いひ けみ、 えよ、 われ すべ しの もれを
あへ せん。 あく いひ けみ、 あん ち やま おる せ、 これ くの こと

おふるふらすべきあくあととあればあり。・われよれよりひけり、
をそれり。これにあきとおめぐ、すゑどもそぞめとそぞりあり。
されゆゑくものよりのちのそじのそあゆとありぢゆうのむ
ことをさせん。・ゆちをうるものこれのことをつぶえ。・われ
ゆれのかみとあり、われよげあとありえ。・されどおくびゆう
さん、おんせぎるもの、ふくむべきもの、ひとつうし、そりうを
おこらかくもの、あそかうり、ぐうざうとそりするもの、あく
すべらりのをりをりふものへゆとりをうのゆゆらうとすゑども
あらぬのあまおりそそのむろひをうくべー。

。おもろいのあらうのまじめのまじめあるあらうのもつを もつ
るおもろいのつうひくちのひとりおとこねよめうりりひ
けめん、あらがこくよきくね、これあおきうどものつまあるもあ
あめとあらがよきせん。わかれみくわよめんとつうひおあひある
わくわく やすよこのを さげさん ゆかと かみのえのうを ゆかる
かみのうみやうあるあるとむぐかみのりおすてんおりうとう

されよ。11 そのひうりん ゆのこむ さりとまつり すあもち
すのしようの びんとすまとある こふくうせきの だとい。¹² これよ
おあひある さうき りーぐまと おうみの ゆえあり、 ゆえよ おう
みくみの つうひあり、 ある ゆふの うへよひきるを あすみをち
いせらえきの あどゆの あうよ ぞくの ああり。¹³ ひぐーよ 三つの
ゆえ、 さくはよ 三つの ゆえ、 三きみよ 三つの ゆえ、 かーよ 三つの
ゆえあり。¹⁴ みやこの りーぐまよ おうみの どぞりあり、 これよ
あむくとの おうみの おーゆくらの あうみの ああり。

15 それと かかる もの みやこと その もよと その イーダキとを
もうる ため まかねの けんぢやを もそり。16 みやこと おもよひち
ぐる、その あぐさに もどと おあト。ゆれ まわを ゆりて みやこと
もぢりーうび ろりび やくり ありき。あぐさともどと まうさん えあ
ひとー。17 ある その イーダキを もぢりーうび ひとの ひぢト やく する
もち その つうひの ひぢト やくり いりび やく 等 あらやく ありき。
その イーダキの まち もせん こなだうせき あり。みやこと まかねもく

あけれどあり。²⁶ひとつくわぐわのさらとおそれとこれ
もちまくさん。²⁷あるともあけらあるものとふくわづきこと
およびりのもののこととおとあるものいこむよりをえせ。ふく
あゆうどのいのちのあまよあたされするものみりるあり。
われあるのちのしげのめもぎすりとまうのひと
くよめぐれきてかまとあゆうどのみきありりぐもとされよ
あめせり。²⁸みやこのとおりとゆそとのあひごのあめくらまよ
のめのきあり。そのきんおうよおゆのみをむすびそつま
だとよこれをむすぶ。そのもんくわぐわのたまをひやすゆれ
あり。²⁹ゆもしのうめあることあり。かまとあゆうどとの
めくらよあり。そのあゆうどめれまつらん、そのゆそをえん。
そのあゆれとのひくひよあるべー。ゆもしゆあるあー。とゆー
びのひくり、ひのひくりとうくよおもむす。そいかとあるまこと
ゆれとてトーきくへあり。われとよもせんじのをものせん。
あくされよりけり、これよりあんせんべーあととある。

○あふそーるよげんざ 二十二 おやう 22

千百十六

こととびあり。おけんへやくらの くまの きくとある かとすみやうよ
きくとんとすることをその あむべくもよおめきくらべ きりよその
つうひをつうせり。こまよ、これすみやうよりくら。そのあまの
おけんの こととびとある わのく さうりをひ あり。

8. これどの ことと さきまへくる ものく これよはねあり。これ
さきま せーとまよ これどの ことを これよ あめくらる つうひの
あーの まくよひれ あーそ ほりせんとせり。9. これ これよりひ
けくら、あんぢつゝくみて これを あすあうれ。これ あんぢねあひ
あんぢの きやうきの ある おけんへや ある ここの あまの ことをを
ある ものと おあじく あゆべあり。あんぢ さくまとほりせよ。
10. あく これよりひ けくら、あんぢ ここの あまの おけんの ことをを
ふうりんする あうれ。そん とき ちうきよ あれば あり。11. さくまと
うト さくまと あら さくまと うト さくまと うト ことを せよ、けげねくら
くらの あや けげねくらのよ、さくまと き わのく さくまと うト ことを せよ、
きくま ものく あや きくま ものく うト あめよ。

12. こまよ、これすみやうよ りくらん。おの細のく おとあひよ あく
ぐくそ、これよ むくゆる とくらうの こく むくひく これよ あり。
13. これ あらをとおめが、すあをち めーしとすえ、モトめと きそり
あり。14. りのちの きよあくうり めくわんよりみやくよりよ やうよ
おの細の こうもを あくふ むのく さりもひ あり。15. みやこの そと
みりの細と、あくあくうり、さくわうを おとあくもの、ひとごう、
さうぎうを おぐせの、あく すぐそ うのもりを このみて これを
おとあくもの あり。16. これ あらを おとあく さりの さめよ これ
との ことを あんぢよ あらーせん さめよ こく つうひと つうひ
せり。これ だびでの ねおあび その すとよーと せうやく とくらの
くやうド さう あり。17. みやあと ともあまめ きくられとりふ。さく もの
もきくられとりふべー。の さく ものく さく うべー。わのする ものく
あゆうよりのちの うべー。の さく ものく さく うべー。わのする ものく
18. これ すく ここの あまの おけんの ことをを きく ものよ あう
ーを あせ、うれり もー ここの ことを うもゆる もの あくば かと

○あふそーるよげんざ 二十二 おやう 22

千百十七

○あふそーるよげんざら 二十二 灰やう

22

千百十八

この あまよ あらす とそろの さりあんを その ものよ うそへん。
19 されり もー この よげんの ふみの ことを けげるもの あとば
かそろの あまよ あらす とそろの りのやうの きおふび きよきみゆ
さ より その ものと がんを けげとん。

20 されとの ことの あうしと あを もの りふ、 あうり、 され すみゆ
う より くまと。 あめん、 まき あまよ、 まへり さあへ。

21 ねぐそくへ まき あまの めぐと きよき ゆのと ともよ あとん
ことと。 あめん。

あふそーる 千八百八十六ねえ 八 ふむり



